

World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.72

ブラジルと移民



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！案内役は、国際交流員のカレン・イトンさんとアレックス・ロザウスキさんです。

Hello!アレックスです。皆さんブラジルについて何か知っていることがありますか？この前2016年のオリンピック開催地がブラジルに決まりましたが、日本とブラジルって100年も前から交流があった関係の深い国なんです。そこで今回ブラジルと移民について紹介したいと思います。

皆さんご存じ、Jリーグ名古屋グランパスの田中マルクス闘莉王選手（南アフリカW杯日本代表DF）は、日系の父とイタリア系の母を持つブラジル出身の日本人です。

ブラジルはアメリカと同じくらいの大きさで、アメリカより日本語を話せる人がたくさんいます。現在、世界のどの国（日本以外）よりもブラジルには日系の人たちが多くいます。

2008年には、日本人がブラジルへ移民してから100周年を記念して、両国でさまざまなイベントが行われています。

1908年、709人の日本人がコーヒー農場で働くためにブラジルに移民しました。たくさんの人たちがそれに続き、1920年までには2万8千人の人たちが日本からやって来ました。



△日本代表になるため帰化した闘莉王さん

彼らを待ち受けていたブラジルでの生活は、農場での辛い労働そして貧しい生活状況で、アメリカにいる多くの日系人と同じようでした。農場主はいまだに奴隷を使っていたので、日本人の移民を奴隷のように扱いました。また、ブラジルに来る前に日本人移民は、ブラジルについてほんの少しの知識とポルトガル語しか知りませんでした。生活が合わず多くの移民が逃亡して日本に帰国しようと試みましたが、農場主が彼らを妨害しました。しかしこれらの環境のせいで、日本人社会の絆はとて強くなりました。彼らの子どもたちは日本人学校で教育され、ほとんどはポルトガル語を話すことを学びませんでした。



△ブラジルへの移住を広告するポスター（1910年頃）

日系ブラジル人2世のうち6%だけが混血です。ブラジルが1942年に第2次世界大戦に加わった時、日本人はとて制限されました。バイクに乗ることを禁止され（自分の所有するバイクでさえ許されず）、数千人がスパイ活動の容疑でブラジルから強制退去させられました。また、サントスに住んでいたおよそ1万人の日系ブラジル人は、海岸線から立ち去るように強制されました。1946年にブラジルの国会が日本人の移民を禁止する

ことについて討論しましたが、ほんの1票差で禁止されませんでした。このころ日系ブラジル人の2世たちは、都市部へ移り住み、サンパウロのリベルダージ地区に日本人街を作り始めました。

戦後しばらくの間、日本人の移民は続きました。そして大部分のブラジル人は、日本人をブラジル人ではない賃金の安い労働者として見ていました。このようなイメージにもかかわらず、日系ブラジル人3世の42%は混血です。

1970年代日本経済が発展し始めると、日系ブラジル人たちは好意的に扱われ始めました。1980年代、日本が世界でも強力な経済大国の一つ

になると、たくさん日系ブラジル人たちが仕事を求め日本へ行きました。しかし残念なことに、日本で彼らは「出稼ぎ者」としてみなされ、ほとんどの人はポルトガル語しか話せなかったため、日本の日常生活、マナーや習慣を十分に理解できずに苦しみました。そして深刻なカルチャーショックを経験しました。彼らはブラジルでは日本人として見られ、また日本ではブラジル人として見られ、彼らの家族が移民したときに直面した同じ偏見を逆に経験することになりました。

現在ブラジルに約150万人の日系ブラジル人がおり、そのうちの7万人が1世の移民です。また、30万人のブラジル人が日本に住んでおり、そのうちの2万5千人は日系ブラジル人です。

このように日本とブラジルの交流は、100年以上にもわたり深い関係で結ばれています。

2008年6月、「日本人ブラジル移住100周年記念式典」に日本の皇太子がブラジルを訪問され、多くの日系人たちに向けてポルトガル語でメッセージを述べられたことは記憶に新しいところです。



△サンパウロ市内にあるリベルダージ（日本人街）



△店頭に立ち日本語を話す日系2世